

施設一体型小中連携校における学校支援

～地域協育ネット「厚陽学校応援団」の取組～ 【山陽小野田市 厚陽中学校区】

地域の概要

厚陽中学校区は、山陽小野田市の南西部に位置し、東は厚狭川、南は瀬戸内海周防灘に面しています。厚狭毛利氏の開作事業によって広く農業が行われています。平成24年度から、厚陽小学校と厚陽中学校が施設一体型小中連携校となりました。

人口	2,248人	
世帯数	997世帯	
対象校及び 児童生徒数	厚陽中学校	56人
	厚陽小学校	103人

組織の内容

厚陽中学校区では平成20年度より、厚陽学校支援地域本部「厚陽学校応援団」を設置し、早くから学校支援活動に取り組んでいます。厚陽中学校区の地域教育協議会は、学校関係者をはじめ、ふるさとづくり協議会や自治会協議会、地区社会福祉協議会、母子保健推進協議会、食生活改善推進協議会等の地域団体関係者、公民館、PTAや学校評議員をメンバーとして構成しています。

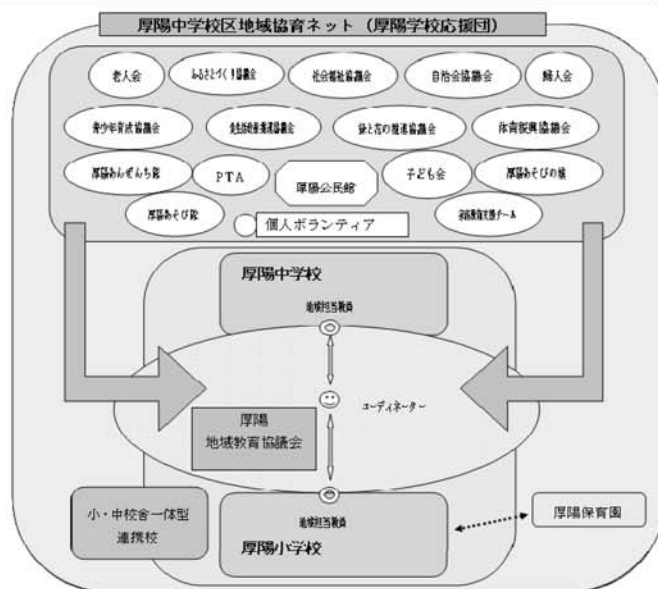
学校支援コーディネーターは、平成23年度は小・中学校各一人でしたが、平成24年度からは施設一体型小中連携校となり、それまでの二人体制から代表一人で運営しています。そのため、コーディネーターと、環境整備班、クラブ活動支援班、学習活動支援班、学校安全支援班の各班長であるチーフとの間で、詳細について連絡調整がされます。

新校舎となり、図書室や音楽堂、昇降口などは小学校と中学校とで共用し、小学生と中学生が自然に交流するなど、日常的に連携が図られています。

また、地域ボランティアの拠点として地域連携

室が新校舎に設置され、コーディネーターや地域の方も気軽に学校に来られ、児童生徒との交流を促進しています。さらに「厚陽あそび隊」（放課後子ども教室）や家庭教育支援チームによる「子育て講座」

に、平成20年度より継続して取り組んだり、厚陽保育園に地域の方が支援に入ったりと、15年間の子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支援する「地域協育ネット」の推進を図っています。



地域協育ネット協議会の構成	学校関係者	6人
	地域団体関係者等	9人
	PTA関係者	9人
	学校評議員	6人
コーディネーター数	1人	
登録ボランティア数	115人	



学校の地域連携室



運動場で仲良く遊ぶ小・中学生